

会議記録（要旨）

会議名	平成28年度 第3回子ども読書活動推進懇談会	
日時	平成29年1月27日（火） 午後6時～8時	
場所	中央図書館 児童資料室	
出席者	委員	岩崎委員、滝田委員、増田委員、石川委員、沼田委員
	事務局	岡本中央図書館次長、企画運営係（杉本係長、松澤）、事業係（奈良係長）
配付資料	<p>第3回杉並区子ども読書活動推進懇談会次第</p> <p>平成28年度第3四半期子ども読書活動進捗管理票</p> <p>平成27年度児童・生徒の読書状況調査等の結果について 概要版（東京都地域教育支援部）</p> <p>その他 委員持ち寄り資料</p>	
<p>1 平成28年度第3四半期の活動について</p> <p>事務局 宮前図書館の出張おはなし会は、27年度から始まったものが、継続で行われている。区立の保育園だけでなく、私立やひととき保育にも行っている。</p> <p>高井戸図書館が上高井戸児童館に出張おはなし会を行った。児童館との関係は、永福図書館、方南図書館が継続して行っているところだが、他の図書館も続いて欲しいと思う。</p> <p>書評座談会が11月5日に行われた。今年度のテーマ図書は吉野万理子・著「赤の他人だったら、どんなによかったか」。毎年、会場は勤労福祉会館講堂で行われている。会の司会・進行は中学生が行っており、また、講評を行う講師はテーマ図書の著者を招くのが恒例になっている。著者自ら講評してもらえることはとても貴重な体験だと思う。</p> <p>葉っぱワークショップ「図書館樹木マップづくり～身近な葉っぱでアート体験～」を行った。午前中、雨が降り、足元が悪くなってしまったため、室内での開催となってしまったが、晴れていれば、今川図書館敷地内にある樹木を観察しながらのワークショップだった。葉っぱの説明・観察だけでなく、こすりだしによるアート体験まであり、最後にはまとめとして、図書館の植生についての地図を作成した。</p> <p>こちらは第4四半期の報告に含まれる事業だが、「デジタルえほんDE 読み聞かせ」が行われた。タブレットと映写機をつなぐことができたので、大画面に映し出せ、映画会のような雰囲気になったと報告があった。「しらゆきひめ」をタブレットのソフトで読み聞かせて、同じタブレット内にあるしりとり遊びをし、その後は大型絵本の読み聞かせをした。しらゆきひめでも、様々なバージョンの絵本があるので、それらを会場内に展示し、貸出にもつながった。</p> <p>委員 保育園児への小学生の読み聞かせは、学校が保育園へ申し込むのか？図書館が仲</p>		

介しているのか。

事務局 学校と直接交渉となるが、多くは幼少連携、小中連携の中で行われていることが多い。

委員 南荻窪図書館で、荻窪小へ全クラスブックトーク実施とある。とても良い。計画的に行われているのか。

事務局 学校の協力が無ければ出来ない。毎年行っている。柿木図書館でも低学年を中心に毎学期ブックトークを行っている。

2 子ども読書活動推進計画について

事務局 以前にもお話しさせていただいたが、改定作業を行う。素案が出来たらご報告する。今回の改定にあたって都の計画も踏まえて行う。

委員 不読率と未読率の違いは？

事務局 意味としては同じである。区としては未読率を使っている。

委員 かなり読んでいるのではないのかと思う。

3 その他

都立多摩図書館について（移転オープンに伴い、内覧会が行われた。）

委員が持ち寄った資料をもとに意見交換